

健康と光線

自然を
ないがしろにした報い

今、科学の進歩を信じるあまり、科学万能の思想が世界を支配しています。しかしこと生命に関するかぎり、あらゆる生命は自然環境の中で生かされていて、自然環境を無視して生命の未来はあり得ないことを忘れてはなりません。

太陽光線についても、その恩恵を受けるために適切な日光浴の仕方を指導することもなく、闇雲にありもしない弊害を強調す。

最近の新聞やテレビは、UV AだのUVBだの専門用語まで駆り出して、化粧品を使わないと脅かします。そのため多くの

人が化粧をしないと「しみ」や「しわ」になると信じていますし、日光を恐れている人までいます。しかしちょっと落ち着いて母親か祖母を思い出してみてください。戦前の日本には化粧をしたり、日焼け止めを塗る習慣はありません。でも皆さんのお母さんやお祖母さんは、皆さんより余程日光を浴びたにもかかわらず奇麗な肌をしていたのではないか。勿論、「皮膚ガン」にもからなかつたと思います。

女性にとって本当に必要で役に立つ知識は、太陽光線がビタミンDを作ること、それ故、妊娠、分娩、そして愛児の発育に大きな関わりを持つことです。そして貴女の骨を丈夫にして、年老いて骨粗鬆症（こつそしょうじょう）で苦しむのを防ぐことで「しわ」や「皮膚ガン」になる

更年期前後から、あちこちが痛んで思ふように動けないのは、自然をないがしろにした報いかかもしれません。

医学の原点

色眼鏡などと言うものも、ちよつと前まではなかったのに、そのため眼の病気になつた人々全くありません。でも今では夜の地下道でも色眼鏡をかけないと眼を開けていられない人までいます。

やや抽象的かもしませんが、健康が病を防ぎ、病を癒すのであって、薬や手術は補助手段に過ぎません。これが医学の原点であることを忘れてはなりません。しかし、実は健康ほど内容の難しい言葉はありません。そのため各人に勝手に使われていますが、少なくとも太陽光線を抜きにして健康を論じる

痛みで思うように動けないのは、自然をないがしろにした報いかかもしれません。

色眼鏡などと言つるものも、ちよつと前まではなかったのに、そのため眼の病気になつた人々全くありません。でも今では夜の地下道でも色眼鏡をかけないと眼を開けていられない人までいます。

（寺田寅彦隨筆集より）

実際、これまでの先人の太陽光線についての研究からも、光線が生体のあらゆる生理機能に関連し、それを調整していることは明らかです。その上、慢性疾患や成人病からガンの予防（五、六面参照）にも関係しています。

（寺田寅彦隨筆集より）

光線療法は、自然が話す自然の神祕の物語を聞くことです。健康新法としての利用はもとより、治療法としても他のいろいろな治療法と併用して、利点を助け、欠点を補います。今回新に発行する「光線療法学」の改訂増補版が、光線療法についての理解を助け、恩恵にあずかる切っ掛けとなれば望外の喜びです。その先は、皆様の創意工夫で応用範囲を拡げていってください。

光線療法を大河に!!

—忘れてはならないこと—

サナモア光線協会 医学博士 宇都宮光明

自然自身をして
自然自身を研究させよ、

この度、「光線療法学」の改訂増補版（三面参照）を出版す

るに際して、あとがきに寺田寅彦隨筆集から、私が座右の銘

「光線療法学」 (改訂増補版)

定価2000円・ 送料300円

10月1日より発売

株東京光線療法研究所



讀光譜

宇都宮義真撮影



治療の理想

薬や手術をはじめとして、病気の治療法はたくさんある。サナモア光線療法もその一つである。中には神様に頼んだほうがよいと思っている人もある。

病気の治療を乗物にたとえれば、同じ目的地に行くのに自分で歩いても人力車でも自転車でも電車でもバスでも汽車でも汽船でも飛行機でも行けるようなものだ。また川に流されて偶然目的地に着くことさえもある。

治療の理想は、要するに何の治療法が一番気持ちよく、安全かつ確実で、速やかに奏効するからである。その上、廉価で簡便なら言ふことはない。サナモアはおおむねこの条件に適う家庭療法である。

せめて気持ちよく

はおおむねこの条件に適う家庭療法である。

病気の治療は懲罰ではない。苦くて不味い薬を飲んだり、針を刺したり、切って痛い思いをされたりせずにできないものであらうか。泣き叫ぶ子どもを皆でおさえている姿は、地獄もかくやと思われるのである。だから「お医者様に連れて行くぞ」と言えば泣く子も黙るのである。

万病に効く

病気の正しい診断は予想以上に面倒で、従つて誤診も多い。一般的に誤診による誤った治療

は却つて有害なことは言うまでもない。もしも万病に効いて、弊害のない治療法があれば安心である。サナモアは光線の働きで身体から治す自然療法であり、おおむねこの条件に適う治療法である。

病気には効くが、反面身体には害があるというような方法ではプラスマイナスである。身体が丈夫になって病気が治るものでなければならない。始めから有害なことが分かっている麻薬や解熱剤を使わずに痛みや熱に効く治療法が欲しいのである。サナモアはおおむねこの条件に適つてている。

予防にもなる

薬や手術のよう、病気になつてからしか使えない治療法ではなく、病気になる前に予防効果のある治療法がもっと普及しなければならない。サナモアには抵抗力を高める作用があり、おおむねこの条件に適つている。

健康法にもなる

病気には効くが、反面身体には害があるというような方法ではプラスマイナスである。身体が丈夫になって病気が治るものでなければならない。始めから有害なことが分かっている麻薬や解熱剤を使わずに痛みや熱に効く治療法が欲しいのである。サナモアはおおむねこの条件に適つていている。

くせにならぬ

薬によっては段々と分量を増してからしか使えない治療法でも、いかに病気の苦しみが軽くなつたとしても不自由なためしばしば手術を勧められる。同じ動かせるようになりたいものである。サナモアにリハビリテーションを併用することにより、おおむねこの条件に適う結果を得ることができる。

どちらがよいか

宇都宮 義真

切らずに

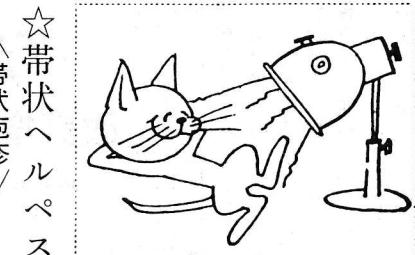
手術はあまり気持ちのよいものではない。どうしても止むを得ない場合には、思いきつて切らなければいけないが、切らずに治せるなら好んで手術をする必要もあるまい。殊に骨や関節の病気で手や足が曲がって動かなくなると、いかに病気の苦しみが軽くなつたとしても不自由なためしばしば手術を勧められる。同じ動かせるようになりたいものである。サナモアにリハビリテーションを併用することにより、おおむねこの条件に適う結果を得ることができる。

簡単に

病気の治療は立派な設備のあるところですが如何にも尤もらしくてよい。しかし手軽に簡単に治せるものを好んで大袈裟にする必要はない。まして自分たちの病気を自分で治せたらどんなに助かるか分からぬ。サナモアは家庭でできる簡単、有効な治療法として適当である。

「健康と光線」

昭和二十七年十一月五日発行
「どちらがよいか」を引用した。



一治験例報告一

☆変形性脊椎症

症例

正月の二日

に娘夫婦が

来所した。

その時はが

歩き添つて

来所した。

その後も日曜日

以外は毎日治

療した。

六日から尾骨から

給するため、薬草茶に蜂蜜を少

す。

BCカーボンに変え、自宅で指

示した。十日で完治。BCカーボンに変え、自宅で指

部、背、後頭部の順に各5分

照射したが、格別疲れもせず、

分照射したが、格別疲れもせず、

分照射したが、格別疲れもせず、

分照射したが、格別疲れもせず、

分照射したが、格別疲れもせず、

分照射したが、格別疲れもせず、

分照射したが、格別疲れもせず、

分照射したが、格別疲れもせず、

分照射したが、格別疲れもせず、

す。

す。

晩二回の治療を続けるように指

示した。十日で完治。

示した。十日で完治。

示した。十日で完治。

示した。十日で完治。

示した。十日で完治。

示した。十日で完治。

示した。十日で完治。

示した。十日で完治。

示した。十日で完治。

す。

す。

☆帯状ヘルペス

症例

50歳

男性

急に一側の耳の周辺に

痛みを感じ、耳たぶに触つただ

けで痛みが増すため、眼鏡も掛

けられないようになつた。

そのため耳鼻科を受診し、最初は

耳炎と診断され治療した。

しかし耳の奥の方まで痛むよう

なり、耳の上の髪の毛に触つた

も薔薇(ばら)の刺(とげ)を

刺したような痛みがますますひ

どくなつた。

そのため診断は帯

状ヘルペス(帯状疱疹)に修正

された。

患者はナモアを持っていた

が、余りの痛みに堪えられず相

談のため来所した。

耳部に激痛を訴えていたので、Bカーボンを使用

ていた。

患部には初め開放で5分照射し

てから一号集光器で20分、二

号集光器で10分、三号集光器(ガ

ラス管)で耳の穴に10分、小脳

(後頭部)5分、一日二回。他

で軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

三日後には耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

四日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

五日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

六日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

七日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

八日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

九日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

十日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

十一日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

十二日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

十三日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

十四日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

十五日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

十六日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

十七日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

十八日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

十九日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

二十日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

二十一日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

二十二日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

二十三日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

二十四日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

二十五日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

二十六日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

二十七日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

二十八日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

二十九日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

三十日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

三十一日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

三十二日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

三十三日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

三十四日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

三十五日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

三十六日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

三十七日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

三十八日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

三十九日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

四十日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

四十一日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

四十二日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

四十三日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

四十四日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

四十五日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

四十六日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

四十七日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

四十八日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

四十九日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

五十日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

五十一日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

五十二日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

五十三日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

五十四日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

五十五日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

五十六日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

五十七日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

五十八日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

裏に各5分、一日一回治療した。

五十九日目より

は耳周辺の痛みは著

しく軽快したので、Aカーボンで腹、腰、背、足

統
カルシウムは健康の基礎

(その2)

—乳ガン・結腸ガンを防ぐ—

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

○五六の区域に分けて、ガルシウムの発生率、死亡率を調べた結果、乳ガンと結腸ガンの死亡率が日光に恵まれた南側の地帯で低く、惠まれない北側では有意に高い事実にヒントを得て、ガーランドらが行った研究を引用し、この地域差は從来ガンとの関連が指摘されてゐる他の原因、例えれば食事では説明しえないのである。しかし、日光照射量が関係すると結論したことを述べました。

本号では引き続きガーランドらによつて明らかにされた、ガン予防面に果たすカルシウムの役割について記述します。

細胞内カルシウムの役割

ガーランドらが行つた研究を引用するについて、細胞内カルシウムの生理的な作用のうち、特に細胞の機能面で果たす作用についてある程度の理解を必要とします。

先ず記憶に留めて頂きたいことは、個々の細胞は外部からの刺激を感じると、その結果を細胞内に伝え、細胞はその細胞に固有の働きをするシステムを持つていることです。この外部刺激を一次メッセージンジャーと呼び、刺激を細胞内に伝達する結合システムを二次メッセージンジャーと言います。

ところで細胞内のカルシウムイオン濃度は、細胞が刺激に対して反応した際に上昇し、刺激の量に応じて高い値をとりますが、仕事が終われば低下する仕組みがあります。

このように細胞内カルシウムイオン濃度が刺激に応じて変動する理由について、これまでにされた研究の結果、細胞内カルシウムイオンは二次メッセージンジャーの主役として、細胞内に情報伝達物質として極めて重要な役割を果たしているのです。

カルシウムの欠乏と細胞機能障害

ガーランドらは、日光で生成されるビタミンDがカルシウムの吸収、利用を支配している点に着目し、日光に恵まれない地域に居住する人はカルシウム不足を起こし易いため、乳ガン、結腸ガンの罹病率が高いと考えたのです。

ガーランドらを共同研究者として受け入れてくれたので、早速ケルらはこの要請を受け入れ、分析に着手できました。また各々の被験者が摂取した食事は、研究を開始した時点から集められており、この間三人を除いて追跡されていました。また各人の食事の内容は、栄養学者によつてビタミン摂取量を始めその他すべての栄養素の摂取量が詳細に測定され、検討資料として保存されました。

ビタミンD、カルシウムが結腸ガン罹病率に及ぼす影響（疫学的研究）

一九八四年に、ガーランドらはシカゴ近郊にある西部電気会社（The Western Electric Company）に勤務する一九五四人の男性従業員を被験者として、食事で摂取するビタミンDとカルシウムが結腸ガン罹病率に及ぼす影響を調べる機会に恵まれました。被験になつた対象グループの人たちは、既にリチャード・シェケルらにより一九五七年から一九五八年にかけて食事に関するアンケート調査が行われ、その後食事が心臓病やガンに及ぼす影響について、カルシウムイオンは情報伝達物質として極めて重要な役果を果たしているのです。

彼らの研究結果を説明し、ビタミンDならばカルシウム摂取量と結腸ガンの関連を疫学的に検討するために、長期にわたり詳細な追跡調査が行われているシェケルらの被験者を使った共同研究を要請したのです。シェケルらはこの要請を受け入れ、分析に着手できました。また各々の被験者が摂取した食事は、研究を開始した時点から集められており、この間三人を除いて追跡されていました。また各人の食事の内容は、栄養学者によってビタミン摂取量を始めその他すべての栄養素の摂取量が詳細に測定され、検討資料として保存されました。

ところでシェケルらが被験対象としたシカゴのグループの中から、四九人が結腸ガンにかかり、一三七二人は検査でガンを認めています。そこでこの両者の食事の差について分析を進めました。被験になつた対象グループの人たちは、既にリチャード・シェケルらにより一九五七年から一九五八年にかけての栄養素について検討しなければなりません。まず典型的なアメリカ人は、全カロリーの四三%を脂肪とする高脂肪食を摂取しますが、この点について両群に差はありません。また植物性蛋白、含水炭素、飽和脂肪酸、不飽和脂肪酸、コレステロール、カルシウムを除いた電解質、ビタミンDなどびにカルシウム摂取量と結腸ガンの関連を疫学的に検討するために、長期にわたりが論議されている食品も含め、両群に差を認めません。もしあえて言うとしても、体重がやや重く、アルコール摂取量の多い人で結腸ガンになる危険性が若干増す程度です。

これに反し、ガーランドらを共同研究者として受け入れてくれたので、早速ケルらはこの要請を受け入れ、分析に着手できました。また各々の被験者が摂取した食事は、研究を開始した時点から集められており、この間三人を除いて追跡されていました。また各人の食事の内容は、栄養学者によってビタミン摂取量を始めその他すべての栄養素の摂取量が詳細に測定され、検討資料として保存されました。

ところでも、ビタミンDとカルシウムの摂取量が少なかつたことです。具体的には、強化牛乳（注：牛乳にはビタミンDが添加されています）に換算して四杯と二分の一、即ちビタミンDを四五〇 IU（国際単位）、カルシウムを九四五mg以上とっている人の結腸ガンにかかる確率は三分の一に低下します。

ビタミンDをとらない人は、一日に牛乳一杯分もとりません（二〇〇 IU以下）。一方、とる人は牛乳にして三～四杯分はとっています。この両者で比較しますと、とらない人は二倍の率で結腸ガンに罹病しています。

（六ページへつづく）

(五ページからつづく)

タミンDは日光浴(光線)で補ってください。どうしても光線を浴びる機会がないなら魚で補うしかありません。

カルシウムについては、牛乳にして一杯半に相当する量(三一五mg)一日に一二〇〇mg以上とる人と比べて、結腸ガンに三倍かかります。この際の境界値は明確ではありませんが、ビタミンDと共にカルシウムを多くとるほど、結腸ガンに罹病する危険が低下することが明らかにされたのです。

カルシウムが結腸の組織像に及ぼす影響

(実験的研究)

ガーランドらの研究は、アメリカに於けるガン研究の一方の旗頭である、ニューヨークのスローン・ケッタリングガン研究所の研究者によつて好意的に受け入れられ、病理組織学的に追試されました。即ち、同研究所のマーチン・リップキンとハロルド・ニューマークは、高率に結腸ガンに罹病した家系を持つニューヨーク人を用いて、カルシウム投与前後で結腸の組織を顕微鏡的に検索したのです。

日本では、大半の日本人は北緯三三度から四五度に住んでいますが、前号に述べたように同緯度の他の世界各国の乳ガン、結腸ガンの罹病率が高いに対し、日本の発病率は極めて低い値を示しています。日本人は十万人当たり約五人罹患するのに、例えばサンフランシスコやコネチカットではその五倍以上罹患します。

この理由についてガーランド言ふまでもありませんが、ガーンが単一の原因で起ると言うような短絡的なことを言う気はありませんが、私達の日常生活から日々日光が遠ざかり、その上食生活の変化によって魚よりも異常に高い細胞分裂像を認めます。そこで結腸ガンになり

ある病気の罹患率が国によって異なり、また同じ国でも時代によって変わることは決して珍しいことはありませんが、ガーランドらが指摘した日光とカルシウムと乳ガン、結腸ガンの関連性について、唯一の例外が日本です。大半の日本人は北緯三三度から四五度に住んでいますが、前号に述べたように同緯度の他の世界各国の乳ガン、結腸ガンの罹病率が高いに対し、日本の発病率は極めて低い値を示しています。日本人は十万人当たり約五人罹患するのに、例え

ることです。

ガンについては、本稿で述べた乳ガン、結腸ガンは増加の一途を辿っています。この理由について一般的には、脂肪の摂取过多、食物纖維の過小摂取などがあげられていますが、ガーランドらはこれら従来の学説を否定した上で、日光、カルシウム、ガンの関連性を立証したのです。

五〇mgのカルシウムを与え、二、三ヶ月してから再度組織像を調べると、異常な分裂像がなくなり、正常グループと同じ組織像になることを示し、ガーランドらの説を裏付けたのです。

日本は奇妙な例外国か

日本に於けるガンの罹病率の変遷

ここでは是非とも注意して頂かなければならぬことは、一口に病気の西欧化と言わわれている状態が、近年急速に進行していることです。

ガーランドらはこれら従来の学説を否定した上で、日光、カルシウム、ガンの関連性を立証したの

易いグループに、一日に一二三〇mgのカルシウムを与え、二、三ヶ月してから再度組織像を調べると、異常な分裂像がなくなり、正常グループと同じ組織像になることを示し、ガーランドが魚を好んで食べる習慣を強調し、そのため乳ガン、結腸ガンの罹病率が低いのではないかと述べています。

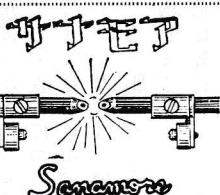
1. 日本には公害による大気汚染がない。

2. 日本人はビタミンDを含む魚を好んで食べる。

ガーランドらは、殊に日本人

が魚を好んで食べる習慣を強調し、そのため乳ガン、結腸ガン

の罹病率が低いのではないかと述べています。



サンモア 光線協会

趣 意 書

天地創造の昔から、眞の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サンモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけではなく、目に見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に適切に放射しなければなりません。

このサンモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に啓蒙普及活動を行うためサンモア光線協会を設立しました。

サンモア光線協会は、設立の趣旨に賛同載いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

医学博士
宇都宮 明光

協会では、会員を募集しております。
入会希望者は、左記宛申込み下さい。

〒153

東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL(03)793-1528
七一一五三二二一

(本紙の無断転用を禁止します。)